



動物医療費のご支援についてのご報告とお礼

～令和5年7月～

11名の方より総額17万円のご支援を頂きました。

動物医療費にたくさんのご支援をいただき、ありがとうございました。

↓医薬材料費(※1)の合計と、ご支援を活用して購入させていただいたものの一部をご報告します。

	医薬材料費(税込)	購入品の例
令和5年7月	合計 156,426円	ニホンザルのオス“No.163”の外傷治療の抗菌軟膏等 ピューマのメス“タフ”の吐出の治療のための胃腸薬 ロバのオス“ドン”の蹄ケア用のビタミン剤 ニホンザル、アカカンガルーたちの被毛ケア用のビタミン剤 血液検査消耗品、鎮静薬、麻酔薬、点滴薬、消毒薬など

↓検査委託費(※2)の合計と、ご支援を活用して行った検査の一部をご報告します。

	検査委託費(税込)	検査の例
令和5年7月	合計 20,108円	ウシのメス“うーたん”、アフリカゾウのメス“マオ”、アカカンガルーのオス“秋田君”、 ツキノワグマのメス“リオ”の血液検査 アカカンガルーのオス“秋田君”の細菌培養検査 ニホンリスのメス“No.296”の細菌培養検査と尿検査

※ 上記のほか、多くの動物たちの検査・治療と病気の予防のためにご支援を使わせていただきました。

盛岡市動物公園 ZOOMO では、これまで以上に動物たちの健康診断を行うなど、病気の早期発見と予防に力を入れています。また、岩手大学など高度医療を行う専門機関のご協力も得ながら、診断のための検査や治療についても積極的に行うことで、動物たちの医療環境の向上を目指しています。

動物たちの検査や治療にはお金がかかりますが、近年では動物医療費が年間約 280～380 万円かかっています(動物医療費は、医薬材料費※1 と検査委託費※の総額です)。現状では、年により 60～160 万円の医療費が不足しています。(キリンやゾウなどの大型動物の診療数で年間の診療費が大きく変わることがあります)

令和2年9月末より、HP や SNS で動物医療費のご支援をお願いしたところ、これまでにたくさんのご支援をいただいております。動物医療費が充実したことで、これまで以上に治療の選択肢が広がったことを実感しており、ご支援くださったみなさまには改めて感謝申し上げます。今後もみなさまからのご支援は動物たちの医療のために使わせていただきます。さらなる医療環境の向上のため、引き続きご支援をお願い申し上げます。

(※1)内服薬・外用薬・輸液剤・ワクチン・駆虫薬・消毒剤・サプリメント・麻酔薬・検査薬・消耗品など

(※2)血液検査・細菌検査・ウイルス検査・ホルモン検査・病理組織検査・外部検査依頼(CT・MRI・内視鏡など)

注意: 医薬材料費を使用し、一部の検査を行うこともあります。

盛岡市動物公園 ZOOMO 病院チーム
松原ゆき・滝本明佳・早川温子・辻本恒徳